

宮古島支所 作物グループの作業風景

作物グループでは、主にサトウキビの品種改良、サトウキビの収量増加や作業の省力化などに係る技術開発を行っています。



宮古島支所内のサトウキビ畑



サトウキビ収穫機での収穫作業

サトウキビ搬出・測定準備



茎長・茎径測定



重量測定



茎長(長さ)測定



茎径(太さ)測定



宮古島支所 サトウキビの品質分析

サトウキビの品質分析は、甘くておいしいサトウキビづくりを支える大切な仕事です。



サトウキビの甘い汁を圧搾機で搾ります



20以上の品種の蔗汁(ショジュウ)を丁寧に取り扱います



糖の分析にたどり着くまでには、いくつもの作業工程があります。



分析器で糖度などを分析します。

新品種の紹介

新品種**RK10-29**が開発されました(品種登録2024年7月)

優良種苗として2025年夏植え用に配布開始



RK10-29

Ni27

Ni27(宮古島で最も栽培されている品種)と新しいRK10-29との比較

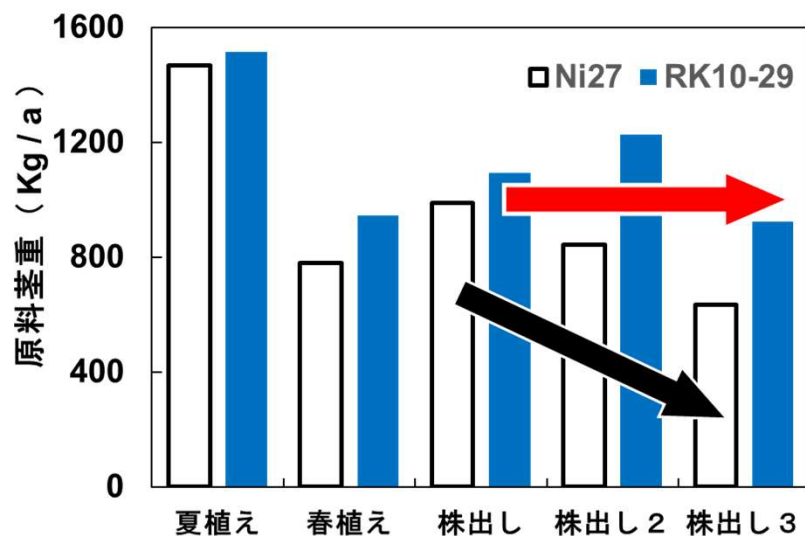


図 品種間による原料茎重の違い

RK10-29の特徴

1. 複数の株出し栽培でも収量が安定
2. ビレットプランタ植付への適応性
3. 黒穂病に強い